

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公表番号】特表 2004-535630(P2004-535630A)
 【公表日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-046
 【出願番号】特願 2002-591945(P2002-591945)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/00
 G 0 6 F 9/445
 G 0 6 F 13/00

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 1 0 C
 G 0 6 F 13/00 5 0 0 A
 G 0 6 F 9/06 6 1 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 11 月 28 日 (2003.11.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

少なくとも 1 つのサーバおよび少なくとも 1 つの特定の計算機システムを有するネットワークに使用されるシステムであって、

前記ネットワークの複数の計算機システムに共通の環境設定属性を有する少なくとも 1 つの基本環境設定ファイル、および前記ネットワークの特定の計算機システムに特有の少なくとも 1 つの環境設定属性を有する少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルを備える複数の環境設定ファイルを記憶する記憶エレメントと、

前記記憶エレメント、前記少なくとも 1 つのサーバおよび前記少なくとも 1 つの計算機システムと通信し、前記少なくとも 1 つの特定の計算機システムの動作を制御する処理エレメントであって、前記アスペクト環境設定ファイルにおける前記少なくとも 1 つの環境設定属性を前記基本環境設定ファイルに適用することにより前記基本環境設定ファイルを更新して、セッション環境設定ファイルを生成し、前記特定の計算機システムを前記セッション環境設定ファイルに基づいて制御する、処理エレメントとを備えるシステム。

【請求項 2】

前記特定の計算機システムに関連した複数のアスペクト環境設定ファイルが存在し、

前記処理エレメントは、前記複数のアスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、

前記基本環境設定ファイルは、所定のシーケンスで前記複数のアスペクト環境設定ファイルによって更新され、

前記基本環境設定ファイルを順に更新するために使用される前記アスペクト環境設定ファイルの環境設定属性は、前記シーケンスの初期のアスペクト環境設定ファイルにより前記基本環境設定ファイルにおいて更新された環境設定属性を上書きする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記処理エレメントは、前記複数のアスペクト環境設定ファイルの少なくとも 1 つにおける環境設定属性と関連した活性化指示を受信することができ、

前記処理エレメントは、前記シーケンスの後段のアスペクト環境設定ファイルに含まれる活性化された環境設定属性が、前記基本環境設定ファイルおよび前記シーケンスの初期のアスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性に優先するように、前記所定のシーケンスに従って、前記少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定属性を生成する、
請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

複数のアスペクト環境設定ファイルが存在し、

前記アスペクト環境設定ファイルの 1 つは、ユーザのアスペクト環境設定ファイル、計算機エレメントのアスペクト環境設定ファイル、および場所のアスペクト環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つであり、

前記処理エレメントは、前記アスペクト環境設定ファイルの少なくとも 1 つに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、
請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記特定の計算機システムと関連した複数のアスペクト環境設定ファイルが存在し、

少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルは、前記特定の計算機システムの特定の計算機エレメントが位置し得る第 1 の場所と関連し、少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルは、前記特定の計算機エレメントを使用し得る第 1 のユーザと関連し、

前記特定の計算機エレメントが前記第 1 の場所に位置し、かつ、前記第 1 のユーザにより使用される場合に、前記処理エレメントは、前記第 1 の場所と関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性および前記第 1 のユーザと関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、
請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

関連表が、少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルと前記第 1 の場所および前記第 1 のユーザのうちの少なくとも一方との関連を定義し、

前記処理エレメントは、前記関連表にアクセスし、かつ、前記表の前記関連に基づいて、前記第 1 の場所と関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性および前記第 1 のユーザと関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、
請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記基本環境設定ファイルおよび前記複数のアスペクト環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つは、前記特定の計算機システムの所定の動作を定義するスクリプトをさらに含み、当該所定の動作は、前記処理エレメントに行為の実施を要求するものであり、

前記計算機システムが、前記所定の動作を実行するように要求されると、前記処理エレメントは、前記スクリプトと関連した前記行為を実施する、
請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

特定の計算機システムの所定のアスペクトに基づいて前記特定の計算機システムの動作を制御する処理エレメントであって、

前記処理エレメントは、動作セッションの間、前記特定の計算機システムを動作させるために使用される特定の環境設定を定義するセッション環境設定ファイルを利用し、

前記処理エレメントは、一般的な計算機システムに共通の環境設定属性を備える基本環境設定ファイルと、前記特定の計算機システムに特有の環境設定属性を備える少なくとも1つのアспект環境設定ファイルとによって前記セッション環境設定ファイルを生成する、
処理エレメント。

【請求項 9】

前記処理エレメントによって使用される前記セッション環境設定ファイルならびに前記基本環境設定ファイルおよび前記アспект環境設定ファイルはすべて、複数の環境設定属性を含み、

前記処理エレメントは、前記少なくとも1つのアспект環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって前記基本環境設定ファイルに含まれる前記環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、
請求項 8 に記載の処理エレメント。

【請求項 10】

複数のアспект環境設定ファイルが存在し、

前記処理エレメントは、前記複数のアспект環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、前記基本環境設定ファイルは、所定のシーケンスで前記アспект環境設定ファイルによって更新され、

前記基本環境設定ファイルを順に更新するために使用される前記複数のアспект環境設定ファイルの環境設定属性は、前記シーケンスの初期のアспект環境設定ファイルにより前記基本環境設定ファイルにおいて更新された環境設定属性を上書きする、
請求項 9 に記載の処理エレメント。

【請求項 11】

前記処理エレメントは、前記複数のアспект環境設定ファイルの少なくとも1つにおける環境設定属性に関連した活性化指示を受信することができ、

前記処理エレメントは、前記シーケンスの後段のアспект環境設定ファイルに含まれる活性化された環境設定属性が、前記基本環境設定ファイルおよび前記シーケンスの初期のアспект環境設定ファイルに含まれる環境設定属性に優先するように、前記所定のシーケンスに従って、前記少なくとも1つのアспект環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる前記環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定属性を生成する、
請求項 10 に記載の処理エレメント。

【請求項 12】

少なくとも1つのサーバおよび少なくとも1つの特定の計算機システムを有するネットワークの少なくとも1つの特定の計算機システムの動作を制御する方法であって、

前記ネットワークの複数の計算機システムに共通の環境設定属性を有する少なくとも1つの基本環境設定ファイル、および前記特定の計算機システムに特有の少なくとも1つの環境設定属性を有する少なくとも1つのアспект環境設定ファイルを備える複数の環境設定ファイルを提供するステップと、

前記アспект環境設定ファイルにおける前記少なくとも1つの環境設定属性を前記基本環境設定ファイルに適用することにより、前記基本環境設定ファイルを更新することであって、それによりセッション環境設定ファイルを生成する、更新するステップと、

前記セッション環境設定ファイルに基づいて、前記特定の計算機システムを制御するステップと
を備える方法。

【請求項 13】

前記提供するステップは、前記特定の計算機システムに関連した複数のアспект環境

設定ファイルを提供し、

前記更新するステップは、前記複数のアスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、

前記更新するステップは、所定のシーケンスで、前記アスペクト環境設定ファイルを前記基本環境設定ファイルと組み合わせ、

シーケンスの後段で組み合わせられたアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性は、シーケンスの初期に組み合わせられたアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性を上書きする、

請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記提供するステップで提供される前記基本環境設定ファイルおよび前記少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つは、前記環境設定ファイルの環境設定属性に関連した活性化指示を含み、

前記更新するステップは、前記シーケンスの後段の環境設定ファイルに含まれる活性化された環境設定属性が、前記シーケンスの初期の環境設定ファイルに含まれる環境設定属性に優先するように、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性と前記少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性とを所定のシーケンスに従って組み合わせることにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、

請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記提供するステップは、一般的な環境設定属性を含む第 1 のアスペクト環境設定ファイル、および特定の環境設定属性を含む第 2 のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

前記更新するステップは、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を、前記第 1 のアスペクト環境設定ファイルの属性および前記第 2 のアスペクト環境設定ファイルの属性と組み合わせることにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、これによって、一般的な環境設定属性および特定の環境設定属性の双方によって定義された環境設定属性を含むセッション環境設定ファイルを提供する、

請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記提供するステップは、複数のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

前記アスペクト環境設定ファイルの 1 つは、ユーザの環境設定ファイル、計算機エレメントの環境設定ファイル、および場所の環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つであり、

前記更新するステップは、前記アスペクト環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、

請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記提供するステップは、前記特定の計算機システムに関連した複数のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルは、前記特定の計算機システムが位置し得る第 1 の場所に関連し、少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルは、前記特定の計算機システムを使用し得る第 1 のユーザに関連し、

前記特定の計算機システムが前記第 1 の場所に位置し、かつ、前記第 1 のユーザにより使用される場合に、前記更新するステップは、前記第 1 の場所に関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性および前記第 1 のユーザに関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、

請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

関連表が、少なくとも 1 つのアスペクト環境設定ファイルと前記第 1 の場所および前記第 1 のユーザのうちの少なくとも一方との関連を定義し、

前記更新するステップは、前記関連表にアクセスし、かつ、前記表の前記関連に基づいて、前記第 1 の場所と関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性および前記第 1 のユーザと関連した前記アスペクト環境設定ファイルに含まれる環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成する、

請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記提供するステップは、グループ内のそれぞれのユーザと関連した一般的な環境設定属性を含む第 1 のアスペクト環境設定ファイル、および前記グループ内の特定のユーザに関連した特定の環境設定属性を含む第 2 のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

前記更新するステップは、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を、前記第 1 のアスペクト環境設定ファイルの属性および前記第 2 のアスペクト環境設定ファイルの属性と組み合わせることにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、これによって、前記ユーザのグループと関連した一般的な環境設定属性および前記特定のユーザと関連した特定の環境設定属性の双方によって定義された環境設定属性を含むセッション環境設定ファイルを提供する、

請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記提供するステップは、グループ内のすべての計算機エレメントに関連した一般的な環境設定属性を含む第 1 のアスペクト環境設定ファイル、および前記グループ内の特定の計算機エレメントに関連した特定の環境設定属性を含む第 2 のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

前記更新するステップは、前記第 1 のアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性および前記第 2 のアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、これによって、前記計算機エレメントのグループと関連した一般的な環境設定属性および前記特定の計算機エレメントと関連した特定の環境設定属性の双方を含むセッション環境設定ファイルを提供する、

請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記提供するステップは、所定のエリア内のそれぞれの場所と関連した一般的な環境設定属性を含む第 1 のアスペクト環境設定ファイル、および前記エリア内の特定の場所に関連した環境設定属性を含む第 2 のアスペクト環境設定ファイルを提供し、

前記更新するステップは、前記第 1 のアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性および前記第 2 のアスペクト環境設定ファイルの環境設定属性によって、前記基本環境設定ファイルに含まれる環境設定属性を更新することにより、前記セッション環境設定ファイルを生成し、これによって、所定のエリア内のすべての場所と関連した一般的な環境設定属性および前記特定の場所と関連した特定の環境設定属性の双方を含むセッション環境設定ファイルを提供する、

請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記提供するステップで提供される前記基本環境設定ファイルおよび前記複数のアスペクト環境設定ファイルのうちの少なくとも 1 つは、前記特定の計算機システムの所定の動作を定義するスクリプトをさらに含み、当該所定の動作は、前記制御するステップに行為の実施を要求するものであり、

前記計算機システムが、前記所定の動作を実行するように要求されると、前記制御する

ステップは、前記スクリプトと関連した前記行為を実施する、
請求項 1 2に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記特定の計算機システムは、計算機エレメント、前記計算機エレメントのユーザ、および前記計算機エレメントの場所のうちの少なくとも1つからなり、

前記提供するステップは、特定の計算機エレメント、前記計算機エレメントのユーザ、および前記計算機エレメントの場所のうちの1つに特有の少なくとも1つの環境設定属性を有する少なくとも1つのアスペクト環境設定ファイルを提供する、
請求項 1 2に記載の方法。